

地上デジタル放送普及推進 ミニドラマ

割れたせんべい
いちごとせんべい
その2

準備稿

脚本 大岡俊彦

登場人物

綾子（27） 煎餅や「ささき」の女房。

祐一（27） 煎餅や「ささき」の主人。

源治（62）

綾子の父。外見は一見まじめで硬いが、実は柔軟でお茶目な内面が綾子にそっくり。

○煎餅や「ささき」

○同、焼き釜の前

口論する綾子、祐一。声はサイレントで、二人の表情だけでその激しさを物語る。

綾子ナレ「ケンカした。結婚して、はじめての大ゲンカ」

釜の中で自動で裏返るせんべい。

まるめた雑誌を持つ祐一は反論。はげしく机を叩く綾子。

はずみに、机の上に置いたせんべいの山が、床に落ちて割れてしまう。

綾子「…」

祐一「…」

綾子ナレ「原因はささいなことだと、思う」

○その煎餅に、タイトル『割れたせんべい』

○綾子の実家、リビング、夕

山盛りのいちごを黙々と食べている綾子。父の源治はテレビを眺めている。

源治「それで実家に帰らせていただきます、なのか」

綾子「話をおおげさにしないでよ。いちご食べに帰ってきただけ。やっぱ実家のが一番だわ」

源治「埼玉でも東京でも、同じ栃木産のが来てるだけだと思うよ」

綾子「雰囲気が違うのよ。…はい、お土産」
出したのは割れた煎餅。

綾子「乾燥の工程で、どうしても割れちゃうやつが出るの。大量生産用の古い機械だし。外には出せないけど味は同じだから」

源治「(ぼりぼり食べて)ウマイね」

綾子「でしょ？ 祐一の焼いたせんべいは日本一なのよ」

源治はせんべいを、綾子はいちごを食

べている。

テレビで流れるニュースは、スカイツリー建設中の映像。

源 治 「明日さ、東京観光に連れてってよ」

綾 子 「どうして？」

源 治 「娘とデートするのに理由なんているかい？ 明日会社休みなんだよ」

綾 子 「いいわよ。明日はささきもどうせ休みだし。私がいらないとお店が回らないって、祐ちゃんに反省させてやる」

○翌日、東京の有名スイーツ店内

大量のカラフルなスイーツをほおぼる源 治。あきれれる綾子。

綾 子 「いきたい所ってここなの？」

周りの客は女性ばかり。

源 治 「何を言う。NY生まれのふわふわスイーツだぞ。まだ東京にしか来ていないのだ」

綾 子 「浅草とかいくのかと思ってた」

○秋葉原、パソコンショップの前

源 治 「何を言う。ナウでヤングでデジタルな東京がよいのだ。次はあそこだな」

指差した先はスカイツリー。

○建設中のスカイツリーの下、夕

綾子と源治、下から眺める。

源 治 「いやあ近くで見るとデカイねこりゃ。どのへんからデジタル波がビビビって出るのかね？ ウチまで届くらしいね」

綾 子 「周りにはまだ何にもないでしょ？」

源 治 「これから出来るんだよ。東京タワーの時もそうだった。新しい時代がはじまる。ざわざわした感じがね、忘れられないよ。

：ここもそうなる。展望台が出来たら祐一ちゃんと登りなよ？」

綾 子「…」
源 治「なんだよ、別れるの？ 一生会わないの？」

綾 子「私はね、あのおせんべいをもっと多くの人に食べてもらいたい。だから割れてしまわない温度管理の出来る、最新式の機材を買ってあげたい。なのに、そんなことにお金は使わないなんて」

源 治「それは、彼に言ったのかい？」

綾 子「(首を振る)」

源 治「(ケータイを見せる。通話中) 聞こえた？」

祐一の声「…ハイ」

綾 子「えっ！ いつから通話してたの!？」

源 治「(笑) 東京タワーのくんだりから。…」

(祐一と話して) 渡したいものがあるって」

○煎餅や「ささき」店先、夜(または夕)

色とりどりの割れたせんべいが、詰め合わせの束に。

祐一「新しい温度管理なんて、考えてもなかったよ。なんと言わないの？」

雑誌を広げると、南の島リゾートの広告。

綾 子「え」

祐一「結婚して一周年、ずっと働いてばっかだったから」

綾 子「そっちこそ、なんと言わないの」

源 治「(笑って) どちらも黙ってるのが得意なのかね」

割れたせんべいを食べる。

祐一「安くて譲ろうと思って、味の組み合わせを考えたら新作です。(綾子に) 貯金、しなきゃね」

綾 子「祐ちゃん」

源 治「ははは。安心したよ。会社さぼった甲斐はあったかな。じゃ」

詰め合わせを持って去る。

綾 子「お父さん、今日休みだって…」

手を振る源治。

祐 一「あ（慌てて一礼）」

源治を見送る二人。

綾 子「一人でさびしくなかった？」

祐 一「別に」

綾 子「私はさびしくて、お煎餅食べてたよ」

祐 一「おれは、いちご食べてた」

ふたつに割れたせんべいが、袋の中で
ひとつになっているように見える。

綾 子「それ、商品名は『仲直り』でどう？」

祐 一「？」

綾 子「ちよつとぐらい割れたって、ずっと
一緒、て意味で」

ほほえむ祐一。身を寄せる綾子。

タイトル『ずっとあなたと、いたいから。』

2011年7月24日、NHKはデジ
タル放送へ移行します』

（コピー他案）

私たちは、いつでも新しくなれる。

新しい関係を、つくっていききたい。

毎日はずづく。